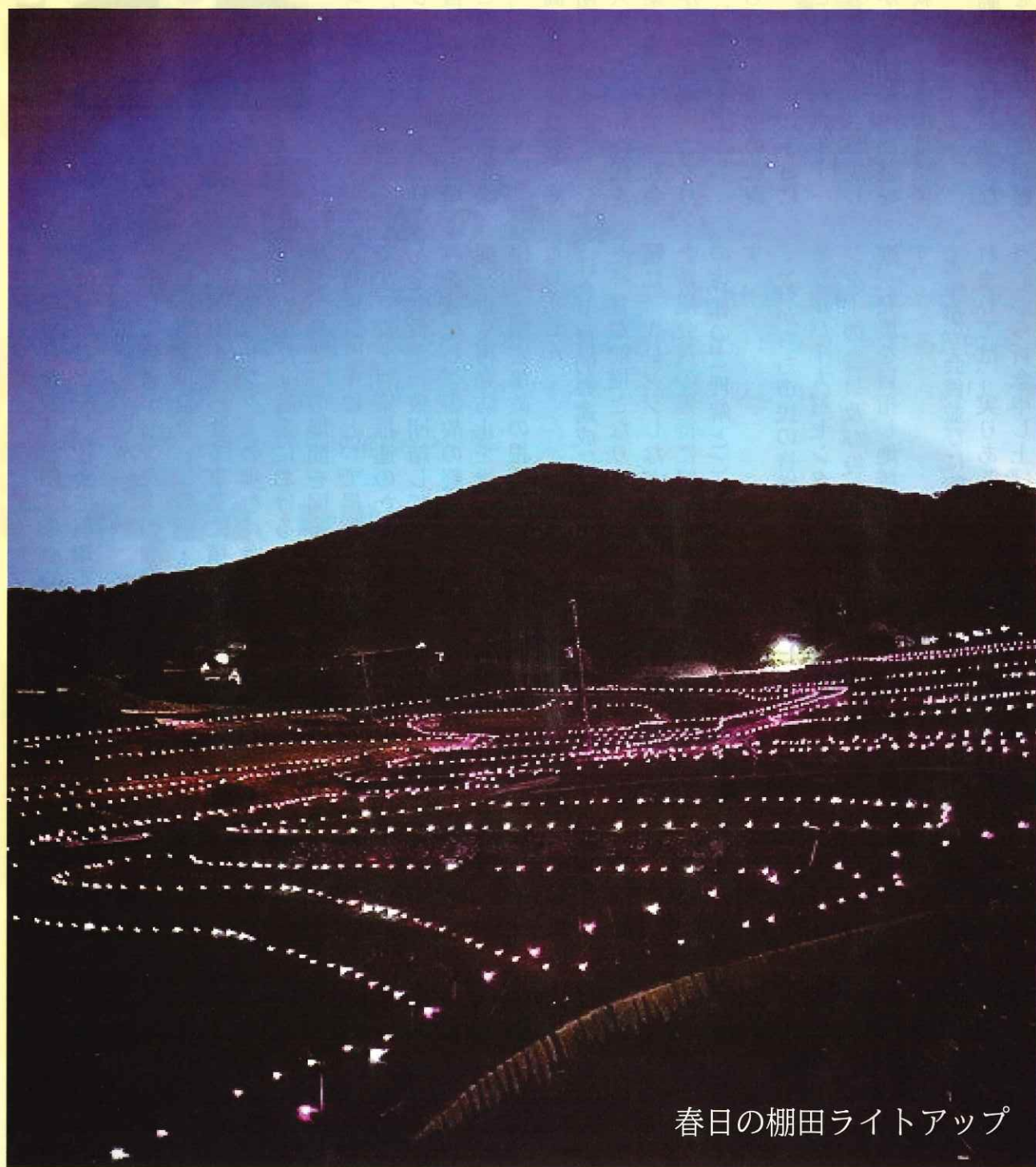


2025年 1月

NAGASAKI

2025年 1月

シルバーひらど



春日の棚田ライトアップ

HIRADO

VOL.41

新年のごあいさつ



理事長
藤澤敏孝

新年あけましておめでとございます。会員の皆様には、ご健勝にて輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また日頃よりセンターの事業運営に対し、市ご当局や市民の皆様方の格別なご理解とご支援を賜り心からお礼申し上げます。

さて、人口減少、少子高齢化が進展し、高齢者のより一層の活躍が期待される中で、シルバー人材センターは、人生一〇〇年時代を見据え地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っているところです。

当センターの事業活動もコロナ禍前の状況に戻ってまいりましたが、令和五年の十月にはインボイス制度が実施され、令和六年十一月には新たにフリーランス法が導入されました。今後は、会員の皆様がこの法律の保護を受け、「安全・安心」に就業できる環境整備に努めてまいります。

しかしながら、会員の高齢化や会員の減少などにより、シルバー事業を取り巻く環境が厳しさを増す中で、シルバー人材センターは仕

事を請け負うだけでなく、会員同士や地域とのつながりをつくり出す中心的役割を担う組織であることを、社会に周知することが必要です。

そして会員がセンターの理念をしつかり認識し「自主・自立」「共働・共助」で高齢者同士が力を合わせて事業に積極的に参加することが、センターの歩むべき道であると思えます。また、就業における「安全・安心なシルバー事業」の展開を図ることは、シルバー人材センターにとつて最も重要な課題の一つです。安全対策推進のため、役職員はもちろん全会員が一致団結して、安全対策の取り組みを強化し、事故の軽重を問わず、原因の把握分析や再発防止を講じながら、重篤事故・傷害・損害事故の根絶に努めて行かなければなりません。

理念・目的の達成には、当センターの安定した経営が前提となりますが、今年は様々な課題にチャレンジしながら、新しい事業の開拓と新規会員の獲得に努めてまいります。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

これからも市民の皆様が親しまれ、信頼されるシルバー人材センターであるために、当センターの会員及び役職員一同、さらなる躍進、発展を目指し地域貢献に努めてまいります。

本年が、会員並びに関係者各位の皆様におかれましては、実りある飛躍の年になりますよう心から祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願いいたします

- | | |
|------|-------|
| 理事長 | 藤澤敏孝 |
| 副理事長 | 青崎光國 |
| 常務理事 | 鴨川祐一 |
| 理事 | 岡部輝幸 |
| 理事 | 小野賢美 |
| 理事 | 鴨川安利 |
| 理事 | 柴田早苗 |
| 理事 | 谷口栄 |
| 理事 | 富村武雄 |
| 理事 | 西サチ子 |
| 理事 | 弥勒院修身 |
| 理事 | 森吉夫 |
| 監事 | 川渕芳喜 |
| 監事 | 坂本純雄 |

(五十音順)



新年を迎えて



平戸市長
黒田 成彦

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

藤澤理事長を始め、会員の皆様には日頃から、市政の推進に深いご理解と温かいご支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、東アジアの英雄として崇められている鄭成功が平戸で生まれて四百周年ということ、様々なイベントを開催し、市民の皆様とともに盛り上げてきました。引き続き、市民の皆様のご協力のもとに盛り上げていきたいと思います。

さて本年は平戸市にとりまして、平成十七年の合併から二十年を迎える記念すべき年です。合併当初は財政危機宣言を発する状況にありましたが、大胆な行財政改革をはじめ市役所機構改革などに取組み、本市の財政は健全性を達成することができました。また少子高齢化による人口減少社会に

対応するため「真に支え合うまちづくり」の土台となる自治運営組織が、市内十四か所において設立され、最初に発足した度島まちづくり運営協議会は創立十周年を迎えます。これまで各協議会において、個性あふれる魅力的なイベントや地域おこし事業に積極的に取り組んでこられ、確実に自治体内分権が進んでいる手応えを感じております。各地区で年末から実施されたイルミネーション事業などから、まさに市内全体が皆様の手によって心のぬくもりとともにキラキラと輝く故郷を象徴しているように思えます。

これに加え、令和七年度中には待望の西九州自動車道がよいよ平戸インターの完成により松浦市と直結し、福岡まで劇的に短縮されることとなります。このことはこれまで以上に人流や物流の移動の加速化や利便性の向上に加え、沿線地域への企業の進出意欲を高めることにもなり、交流人口や関係人口を増大させる起爆剤としても大いに期待が寄せられることとなります。平戸市の基幹産業である農林水産業や観光業についても、希望溢れる産業として持続的な土台を構築し、地域の経済活性化に向け、ともに力を注いでまいります。

さて、全国的に長寿社会を迎える中、

「人生一〇〇年時代」を元気でいきいきと過ごしていただける地域社会づくりが求められています。その中であって、シルバー人材センターの活動は、生きがいの創出、人と人との交流、社会との繋がりと云った活力ある「生涯現役社会」の実現に大きく寄与するものであり、今後もより一層のご活躍を期待するところです。平戸市は、「高齢者が誇りをもって、自分らしく住み慣れた地域で暮らしつつげられるまちづくり」を実現するため、現在実施しております「ワンコインまごころサービス」や「訪問型サービス事業」を始めとした各種事業の充実を図るとともに、直面する地域課題への対応については、地域で頑張る市民の皆様や団体との連携を密にして、解決への手立てを講じてまいりたいと考えております。

会員の皆様におかれましては、市政に對してなお一層のご理解をお願い申し上げますとともに、今後も地域の担い手としてお力添えを賜りますことをお願い申し上げます。

結びにシルバー人材センターの更なる飛躍と会員皆様のご健勝並びにご活躍を祈念いたしました。新春のごあいさつといたします。

令和六年度 定時総会開催!!



令和六年度定時総会が、五月三十一日（金）に平戸文化センター中ホールにおきまして、正会員一一四名の出席により開催されました。

柴田理事の司会進行により、式次第のとおりに定刻十時に開会。藤澤理事長式辞の後、長期にわたり発注を継続され、センターの事業発展にご協力いただいた発注者六名に感謝状を、また二十年会員として会員一名、

十年会員十三名の方々に、センターの事業の発展貢献者として、感謝状が贈られました。

引き続き議長に選出された弥勒院理事の進行により議事が進み、第一号議案の「令和五年度事業報告及び決算報告」、第二号議案「役員報酬及び費用に関する規程の一部改正について」、第三号議案「役員選任について」全案意義なく承認され、また、第一号報告「令和六年度事業計画」、第二号報告「令和六年度収支予算」についても報告を終えました。

当センターにおいては、令和六年度も引き続き「会員拡大」と「就業拡大」を重点事業として取り組みを行います。また、昨今の社会情勢にならない、会員向けのデジタル化推進に取り組み、フリーランス新法への円滑な移行を進めてまいります。今後も、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立」「共働・共助」の下、会員・役員・事務局職員が一体となつて、地域社会に信頼されるシルバー人材センターを目指し、効率的な事業の推進と活性化を図ってまいります。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

【基本方針】

- 一、会員拡大と就業拡大
- 二、組織運営体制の確立
- 三、安全就業と適正就業の徹底
- 四、普及啓発活動の推進
- 五、デジタル化の推進
- 六、契約方法の見直しへの対応
- 七、長崎県シルバー人材センター連合会等との連携



ボランティア活動報告



毎年10月は、シルバー人材センター事業普及啓発促進月間となっています。今年度も地域班長さんを中心に、各地区で日程を調整し、平戸市内全域で作業が行われました。早朝から、公共施設や小学校及び街路等の除草や清掃活動を実施し、心地よい汗を流しました。作業には会員122名の参加がありました。今後とも、ボランティア活動を通じて社会に奉仕し、市民の皆様可愛られ親しまれるシルバー人材センターを目指して行きたいと考えております。

剪定技能講習会開催



11月27～28日の2日間、植木剪定技能講習が開催されました。佐世保市の岩永造園社長の岩永様を講師に迎え、剪定に関する基礎知識の習得やそれぞれの樹木に応じた剪定技術を学びました。今回はあいにくのお天気でしたが、樹木の種類に合わせた剪定の仕方を丁寧に指導していただき、大変勉強になった講習会でした。今回は一般の方の参加者もあり、この講習を通じてシルバー人材センターの取り組みを知っていただくいい機会になったのではないかと思います。

令和6年度

—佐賀～福岡(原鶴)の旅—

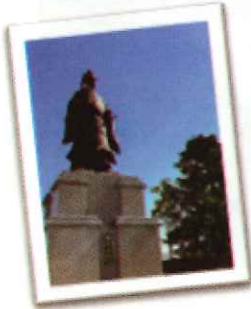
とき:令和6年11月12日～13日



令和六年度会員交流親睦旅行が、去る十一月十二日から十三日にかけて開催されました。

絶好の旅行日和のなか、会員職員総勢二十二名を乗せたバスは、八時半に平戸大橋公園を出発。最初の目的地、佐賀市にある佐賀城本丸記念館へ向かいました。

第一〇代藩主鍋島直正が再建した佐賀城本丸御殿の一部を復元した建物で、館内は七百十二畳もの畳張り。靴を脱ぎ、畳の香りや暖かさを感じながら、佐賀藩の近代化へ向けた取り組みを学びました。



昼食を済ませた後は、大隈重信記念館へ足を運びました。日本初の政党内閣をつくり、二度の総理大臣就任。そして早稲田大学を創立し教育にも力を注いでいた大隈重信氏。使用していた右脚の義足や早稲田大学創立時に生徒から送られたガウンなどが展示されており、皆さん熱心に見ていました。また、記念館の階段には赤い絨毯が敷かれており、その階段で写真を撮ると新内閣発足時のあの光景が！「新内閣発足!官房長官はこちらへ。」などと冗談を交えながら記念写真をパシャリ。

記念館の方に見送られながら次の目的地、久留米市にある石橋文化センターへ向かいました。タイヤで有名なブリヂストン創業者の石橋正二郎氏が寄贈した施設で、記念館の他にも図書館などが併設されていますが、中央にあるバラ園がとにかくお見事。四百品種、二千六百株ものまさに見頃のバラ達が華やかに咲き誇っていました。

それから一行は、ごま焼酎を開発した田主丸紅乙女酒造へ。珍しいごま焼酎を試飲しながら、思い思いのお酒を手にとっていました。ほろ酔い気分ですバスに乗り込み、いよいよ本日の宿、原鶴温泉パークレンス小野屋へ向かいます。

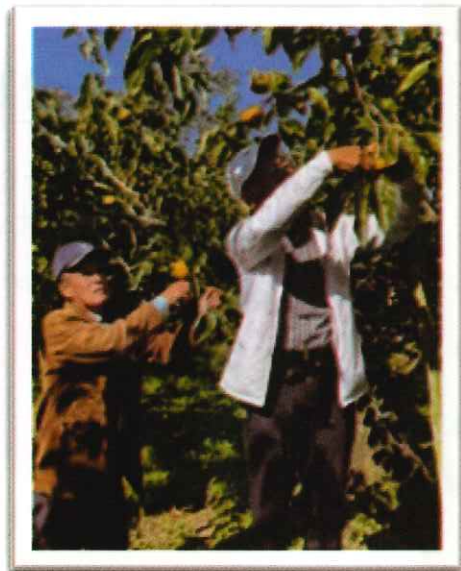




「羽を痛めた鶴が湯あみをして傷を癒したことが原鶴の由来である」など、添乗員さんの説明を聞いていたうちにホテルへ到着。温泉で日頃の疲れを癒した後は、皆さんお待ちかねの夕食&親睦会へ。いつも仕事を共にしている仲間とお酒を酌み交わしながら、美味しい料理に舌鼓。芸達者な会員の皆さんによる歌や踊りでさらに盛り上がり、大変楽しいひとときを過ごしました。



二日目は八時半にホテルを出発し、福岡県うきは市にある「道の駅うきは」へ。人気の道の駅という事で、平日の朝にもかかわらず、多くの人で賑わっていました。旬の果物や農産物などが並んでおり、気付けば両手いっぱいにお土産が。そして次の目的地である、田主丸の右田果樹園へ。移動中もあちこちに広がる柿畑に「んにゃ柿のよーなつとる。あっちもこっちも。」等と外の景色を楽しんでいるうちにあつという間に到着。柿狩りの説明を受け、いざ柿狩りへ。美味しそうな柿ばかりで、気づけば籠は柿でいっぱい。普段なら重いと感じる重さでも、家族・友人・ご近所さんへのお土産と思えば軽いものです。



あつという間に時間が経ち、鳥栖で昼食を済ませ、たくさんさんの思い出やお土産と共に、平戸への帰路につきました。今回も大変愉快で楽しい時間を過ごす事ができました。両日好天に恵まれ、一人もケガや事故なく全日程を終える事ができました。これも会員一人ひとりのご協力のお陰と事務局一同感謝しております。来年もまた、一人でも多くの皆さんが参加されることを楽しみにしております。



平戸市シルバー人材センターでは こんな仕事をしています

技術を要するもの

植木の剪定、簡単な大工仕事、障子・襖・網戸の張替え



屋内外の作業

草刈り、草取り、室内清掃、墓地清掃



独自事業

腐葉土、手芸品



サービス・外交分野

ワンコインまごころサービス
家事援助、水道検針



シルバー人材センターは
皆さんの豊かな知識と経験
を活かせる所です！

この他にも様々なお仕事を
していますので、お気軽
にお問い合わせください。

管理

施設管理、道路パトロール、
駐車場管理、空き家管理



農作業

農作物の収穫・植え付け、
畑の草取りなど



一般事務

賞状書き、宛名書き
パソコン操作



『会員拡大』にご協力を!!

平成三年の発足から、当センターは間もなく三十五年を迎えようとしています。この三十五年で、世の中の働き方は大きく変わり、六十歳定年が六十五歳定年となり、シルバー人材センターの会員も、生きがいや健康維持目的から、経済的目的へと変わってきています。当然、六十歳からの入会者は激減し、退職直後も、"しばらくゆっくりして"からになれば、七十歳を超えてきています。以前のように、「働く意欲があつて、身体が動くうちに好奇心と元気をもって、日々を過ごす。」には難しくなってきたのでしょうか？

会員数の減少は、当然センターの運営にも影響します。依頼があれば、「はい、近いうちにお伺いします。」と、返事をして「シルバーさんは、すぐ来てくれて助かります。」と、お客様に大変喜ばれていましたが、最近「二、三カ月はお待ち頂くことになりましたが、構いませんか？」が、職員の口癖になりつつあります。それでも「待ちます」と答えて下さるお客様がたくさんいます。

そのご希望に一日も早く応えるために、一人でも多くの会員を増やしましょう。たくさんの方で溢れたセンターにしましょう。

一人で何でもできる人が、多くいてくれればありがたい。一人が一つのことをできる、そんな人がたくさん集まれば、何でもできる。それが、シルバー人材センターの共働・共助のいいところではないでしょうか？

会員一人がひとりの人を紹介すれば、あつ!!という間に会員は増えます。

『会員拡大』にご協力ください。



報奨金制度

新入会員紹介に対する報奨金の支給制度が当センターには設けられています。但し、年度一年間の紹介人数となっています。

○二人目以降一名につき報奨金千円を贈呈

例 一人の場合 報奨金 0円

二人の場合 報奨金 千円

三人の場合 報奨金 二千円

○五人以上の入会者を紹介した場合は、総会において表彰状を贈呈

夫婦会員制度

令和七年度より夫婦会員制度を設けます。

特典として、配偶者いずれか一方の会費を半額とします。(会費半額のためには、「夫婦会員会費減額申請書」の提出が必要となります。)

是非、これを機会に傍らの相棒をお誘いしてみませんか？

2025年男・年女の皆さん

二〇二五年の主役、巳年の年男・年女の会員の皆さんにアンケート調査を実施しましたところ、三名の方からご回答をいただきました。

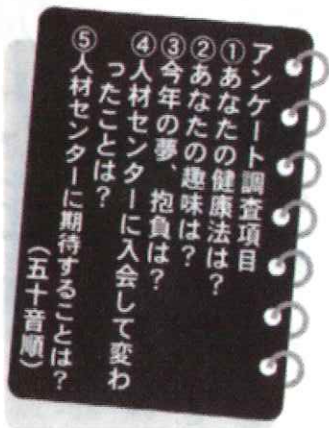
巳年生まれの人、一度決めたことはやり抜く粘り強さと忍耐力があり、目標達成するまで努力を惜しまない強い信念を持っていると言われています。脱皮する巳（蛇）は「再生と復活」の象徴で、不老長寿につながる縁起のいい動物です。また、知恵の象徴でもあり、恩を忘れず返す動物とも言われています。

巳年は新しい事が始まる年、そして実（巳）を結ぶ年。年男・年女の方々をはじめ、皆さんにとって実り多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



中津良班
川口 不二男

- ① 何事にも無理をせず、毎朝のラジオ体操と、一日仕事終わりの晩酌かな…。
- ② 若い頃は釣り好きで、竿を担いで磯巡りを楽しんでいましたが、今では足腰が弱り、好きな作家の本を読んだり、たまにCDで演歌を聴く事くらいです。
- ③ 元気で何事もなく一年を過ごすことを願っています。
- ④ 入会前は、自分自身が頑張ればという気持ちで何事にも接していたが、入会後は、共働・共助の規約を知り、思いやり、助け合いながら楽しく就業する事を心掛けています。
- ⑤ 期待というか、私の思いとして交流親睦旅行もいいが、市内での交流の場を設けたら、参加者も増えると思います。



アンケート調査項目
 ① あなたの健康法は？
 ② あなたの趣味は？
 ③ 今年の夢、抱負は？
 ④ 人材センターに入会して変わったことは？
 ⑤ 人材センターに期待することは？
 (五十音順)



獅子班
坂本 清子

- ① 自宅の畑で野菜作り。週一回のよかよか体操。食事はバランスよく食べるように気を付けています。
- ② 詩吟。
- ③ シルバーの仕事頑張ります。
- ④ 色々な方々と出逢えたこと。
- ⑤ 分かりません。



中野班
横尾 和子

- ① 三度の食事は必ず摂るようにしてる。時間がある時は歩いて体を動かすようにしています。
- ② 野菜作りや友達と会って会話をしたり食事に行ったりする事。
- ③ 年齢は気にせず、体が動く限り元気に頑張ってると思っています。
- ④ 会員が減少した事。人間関係が難しい時がある。
- ⑤ 自分はないです。

料理の知恵

～調味料の順番にも意味がある？～



問題です。

料理の「さしすせそ」で正しいのはどれでしょう？

- ① 砂糖、塩、酢、セロリ、味噌
- ② 酒、塩、酢、醤油、味噌
- ③ 砂糖、塩、酢、醤油、味噌

普段から料理をされる方でも、「なんとなく順番だけは知っているけど、どうしてこの順番？」とよく分からないという人も多いはず。実はちゃんとした意味があるんですよ♪

▽ 砂糖の後に塩の理由

まずは、なぜ砂糖が塩より先なのか。それは、砂糖が塩に比べて素材にしみ込むのが遅いからです。更に砂糖は食材を柔らかくする効果もあります。塩を後に入れる理由は、塩の方が味のしみ込みが早く、先に塩を入れてしまうと砂糖の味がしみなくなったり、食材が硬くなってしまふことがあるからです。

▽ 酢、醤油、味噌の順に入れる理由

この三つの調味料に共通しているのは、発酵して作られた調味料であること。発酵調味料については、熱によって風味が飛んでしまうので、なるべく料理の後半に加えるようにします。

酢はツンとした酸味や刺激臭を飛ばし、料理をまるやかに仕上げる為。醤油は、酢とは逆にあまり熱を加えて風味や栄養などを飛ばさないようにする為。味噌は、熱によって最も風味が損なわれやすい為最後にしています。

▽ 酒やみりんはどうする？

最後に、よく登場する酒やみりんについてです。酒は素材の臭みを取り、味をしみ込みやすくする効果があるので、砂糖と一緒に入れる事がオススメです。また、みりんについては、本みりんとみりん風調味料があり、この二つは入れるタイミングが違うので注意が必要です。「本みりん」はアルコール成分が多く含まれているので、酒と同様に砂糖と一緒に。「みりん風調味料」は、風味や照りを出すために、料理の最後に入れることで料理が美しく仕上がります。

順番を気にせず料理をされていた方は、ぜひこの順番で入れてみてください。普段のお料理が一段と美味しく仕上がりますよ。

※問題の答えは・・・『③』です!!

楽しく 豊かに 健康で 仲間の集うシルバーライフ 会員募集中!!



平戸市に在住で、60歳以上の健康で働く意欲のある方なら、どなたでも入会できます。

毎月第3火曜日に入会説明会を開催していますので、是非お越し下さい。

表紙の説明 (書名の由来)

世界文化遺産に選定されている春日集落の棚田では、十一月にライトアップイベントが開催されています。約七千個のライトが棚田を彩り、昼間とは違う幻想的な風景を楽しむことができます。

編集後記

新年を迎えるにあたり、ここ近年の国内外の大きな出来事を振り返ってみたいと思います。

まず最初に、新型コロナウイルス感染症は二〇一九年十二月初旬に中国の武漢市で第一例目の感染者が報告され、わずか数カ月程の間にパンデミックと言われる世界的流行となった。我が国においては二〇二〇年一月十五日に最初の感染者が確認されたのち感染者数が急増。次に二〇二二年二月二四日ロシアによるウクライナ侵略開始、G7を中心とする先進国の前例のないロシアに対する大規模な経済制裁。しかしながらその影響も世界では自国中心主義など多極化が進行するなど著しい情勢変化が見られた。一方国内に目を向けると、ここ数十年経済の低迷ならびに国民への消費税及び地方消費税の増税(二〇一九年十月一日)さらには物価高も影響し生活に困窮している国民が「安心・安全」で暮らせるための最優先の政策に期待したい。

今年もシルバー人材センター職員の皆様、会員の皆様と共に「自主・自立」「共働・共助」のもと、明るい未来がくることを願う地域社会のためのご支援ご協力をお願い致します。

広報委員会一同

編集発行

公益社団法人 平戸市シルバー人材センター

長崎県平戸市鏡川町九三〇番地

TEL (〇九五〇) 二二一三二〇〇

FAX (〇九五〇) 二二一三一四